

## 「線状降水帯」と「ゲリラ豪雨」はどう違う？

ここ数年、「線状降水帯にご注意ください」というフレーズをニュースでよく耳にするようになりました。大雨が降るといふ点では「ゲリラ豪雨」も同じように思いますが、両者には明確な違いがあります。

「ゲリラ豪雨」は、狭い範囲に30～60分程度の短時間で激しく降る雨を指します。それに対して、「線状降水帯」による雨は、長さは50～300km、幅は20～50kmの広い範囲で長時間にわたって強い雨が降り続けます。「ゲリラ豪雨」も危険ですが、「線状降水帯」による雨は3時間の降雨量が200ミリを超えるような集中豪雨になるため、洪水や土砂災害のような被害も発生しやすく、より危険なものとなります。

いずれにしても危険な豪雨ですが、どのように備えたら良いでしょうか。地震などと違い豪雨は予測ができます。天気予報をつねにチェックし、豪雨の可能性がある場合は気象庁から注意報などが出るので、安全に過ごせるように対処することが大切です。また、注意報や警報が出ていなくても、次のような場合は豪雨に合う可能性があるため、安全な場所に避難しましょう。

### 【こんな場合は要注意!!】

- ◆ 真っ黒な雲、雷の音や光が見える
- ◆ 冷たい風が吹いてくる
- ◆ 川の水かさが急に増えたり、濁ったりする